

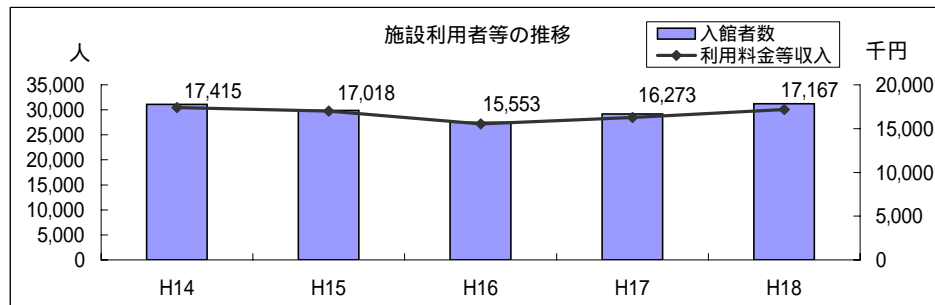
福井県陶芸館(1/2)

「やしの広場」陶芸館へお越しください!

所在地	丹生郡越前町小曾原120-61		
設置年月日	昭和46年4月1日		
施設の種類	その他の博物館	施設管理主体	県
設置の目的	越前焼を「見る」(展示資料館)、「作る」(陶芸教室)、「使う」(茶苑)の3つの体験により、越前焼の振興を目的とする。		
概要 (構造、面積、主な機能)	鉄筋コンクリート造2階建 延2,188.65㎡ 資料館・陶芸教室・茶苑・日本庭園(幽石庭)		
職員数	正職員6人、非常勤嘱託6人 アルバイト2人 計14人		

利用状況等 (単位 人)

	H14	H15	H16	H17	H18
陶芸館	31,116	29,857	27,512	29,200	31,234
(展示資料館)	9,285	8,796	6,933	7,818	8,410
(陶芸教室)	17,401	17,104	16,394	17,042	18,413
(茶苑)	4,430	3,957	4,185	4,340	4,411



利用状況の推移	近年、利用者は減少傾向にありましたが、顧客主義の徹底を図り利用サービスの向上に努めた結果、平成18年度は平成17年度に引き続き資料館については7.6%、陶芸教室については8.0%、茶苑については1.6%、合計では7.0%増加しました。
---------	---

施設の特徴

日本六古窯の一つに数えられる越前焼の振興と古い越前焼の保存を目的として、昭和46年に開館しました。

陶芸館には「見る」資料館、「作る」陶芸教室、「使う」茶苑、「憩う」日本庭園(幽石庭の4つの施設があります。

資料館

常設展 平安時代末期から現代までの越前焼 約190点、水野九右衛門コレクションの越前焼など 約40点展示しています。

特別展 期間中県内外の優れた陶器をテーマを決めて展示します。

陶芸教室

越前の粘土を使って大人から子どもまで楽しく陶芸を体験できます。

てひねりコース、絵付けコースの体験教室があります。また、電動ろくろコースもあります。

また、各種陶芸講座(体験コース、技術習得コース)を開催しています。

茶苑

越前焼にふれ、実際に使って楽しみ、また日本古来の芸術文化である茶道を普及し、越前焼振興と合わせて、地域文化の向上を図るため設置されました。

48畳敷の大広間のある管理棟と正式な茶事ができる越知庵からなっています。

越前焼の茶碗を使った抹茶点出しを行っています。

幽石庭

庭の広さは1886㎡、滝の石組みや池の淵石、庭を彩る草木などすべて福井県産のものを使用しています。

平成18年度の特徴について

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・陶芸に関するわかりやすい講座として「陶芸よもやま話」を平成16年度より開催しています。 ・陶芸教室において、6月「親子電動ろくろ体験講座」、9月「越前焼で(灯り取り)作り」、11月「越前焼で(干支)作り」など、年間を通した楽しい企画を実施しました。 ・「手ひねり講座(基礎講座)」参加者27人、「電動ろくろ初級講座」参加者32人、「電動ろくろ中級講座」参加者29人」を実施しました。 ・県観光連盟と連携するなど、県外の旅行代理店等に対し、福井への誘客のためのPRを行いました。 ・展示資料館は約8千人、陶芸教室は約1万8千人、茶苑は約4千人、計30千人以上の利用がありました。 ・特別展「瀬戸・美濃焼と越前焼交流展」には1,913人の入場がありました。
------	--

福井県陶芸館(2/2)

行政コスト計算書(平成18年度) (単位 千円)

		総額	構成比	前年比
人にかかるコスト	人件費	72,372	62.4%	92.4%
	退職給与引当金繰入	390	0.3%	-
	計	72,762	62.7%	103.0%
物にかかるコスト	物件費	37,451	32.3%	103.3%
	維持補修費	1,782	1.5%	48.1%
	減価償却費	3,187	2.7%	100.0%
	計	42,420	36.5%	98.3%
その他	公債費(利子)	0	0.0%	-
	その他	761	0.7%	64.2%
	計	761	0.7%	64.2%
合計		115,943	100.0%	100.8%
収入	利用料等収入	17,168	14.8%	105.5%
	その他収入	5,889	5.1%	102.4%
	一般財源	92,886	80.1%	99.9%

バランスシート(平成19年3月31日現在) (単位 千円)

借方			貸方		
資産		前年比	負債		前年比
有形固定資産	494,964	99.6%	固定負債	47,730	100.8%
うち美術品	175,747	100.7%	うち退職手当引当金	47,730	100.8%
うち土地	296,991	100.0%			
投資等	0	-	流動負債	0	-
流動資産	0	-	正味資産	447,234	99.5%
計	494,964	99.6%	計	494,964	99.6%

主な指標 (単位: %, 円/人)

	H18	H17	前年比
県民1人当たり有形固定資産額	605	605	99.9%
県民1人当たり将来負担額	58	58	101.1%
世代間負担率	90.4	90.5	99.9%

バランスシート、行政コスト計算書の特徴	<p>施設の設置が、展示資料館が昭和46年、陶芸教室が昭和47年、茶苑が昭和48年と古く、設置当初の建物の償却が完了しているため、減価償却費の割合が低くなっています。相対的に人件費が高い水準にありますが、これは減価償却が完了した古い施設に共通した特徴です。</p> <p>また、将来負担となる固定負債は退職手当引当金のみですので、県民1人あたりの将来負担額は低い水準になっています。</p> <p>資産のうち美術品の割合が35.5%を占めています。平安末期から現代に至る704点の資料を収蔵しており、約180点を展示しています。</p>
施設の目的上、管理運営上、主要な事業	<p>資料館 【予算額:約21百万円】 展覧事業として越前焼を中心とした収蔵資料を展示する常設展とテーマに基づく企画展示をする特別展を開催しています。</p> <p>陶芸教室 【予算額:約9百万円】 大人から子どもまで越前焼(陶芸)を体験できるてひねりコース、絵付けコースがあります。電動ろくろを使って製作する電動ろくろコースもあります。</p> <p>茶苑 【予算額:約6百万円】 48畳敷大広間のある管理棟と茶室(越知庵)からなっています。各施設を利用することができ、越前焼の茶碗を使った抹茶点て出しを行っています。</p>
今後の課題	<p>平成18年度は平成17年度に引き続き利用者が増加傾向にありますが、県外からの誘客促進とリピーターの確保等、より質の高い展示、陶芸教室、茶苑も併せた利用促進に向け、経営視点に基づいた積極的な集客が課題となっています。</p>
今後の事業方針取組み内容	<p>県民のゆとりあるライフスタイルへの志向や民間企業の社員の福利厚生事業の一貫として陶芸館を通年型で活用できるよう、「陶芸よもやま話講座」、「電動ろくろ講座」、「灯り取り講座」、「干支作り講座」、「七夕茶会」、「クリスマス茶会」等の四季折々の企画を展開し、リピーターや本物志向の利用者のニーズにも適した、楽しい企画を展開していきます。</p> <p>陶芸館利用者の利便性の向上を図るため、入館料・陶芸教室についてクーポン制度を導入しており、県外の旅行代理店等に対し、福井への誘客のためのPRを行うなど、より一層の利用者の増加を目指します。</p>

県民1人あたりのコスト負担の状況(円)

